

【凡例】

刻印印影または社章・屋号
右:上英字は推定根拠
A:社章・屋号 B:印影
C:文献・聞取 D:分布状況
E:純仮定

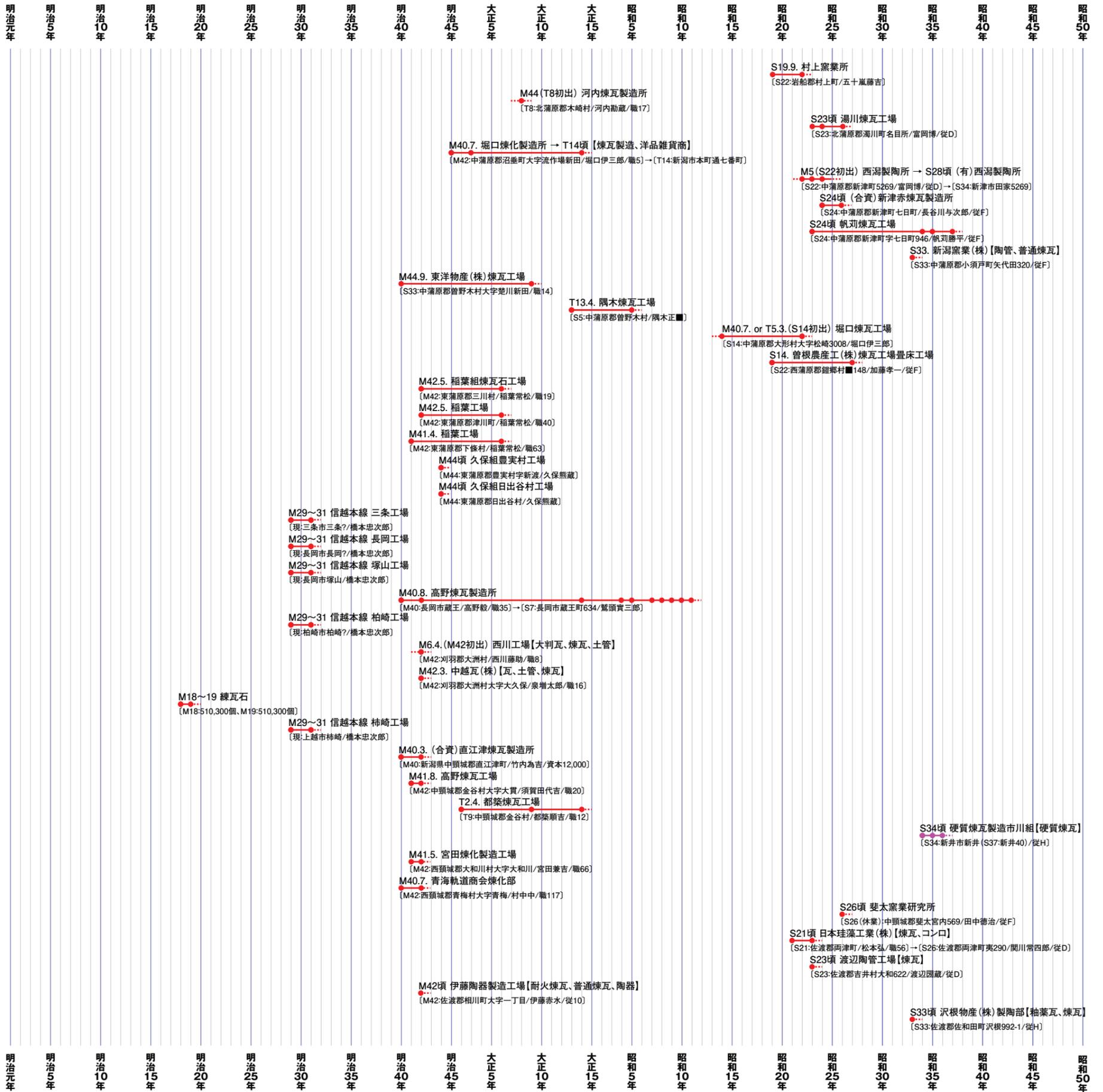
同じ所在地で所有社・社名の変更があった場合
「→」で列記

M19.6. (M40初出) 笹川瓦工場【瓦、煉瓦、土管】 → T9.9. 笹川窯業(株)
[M40:西砺波郡石動町/笹川竹次郎/職25] → [S15:西礪波郡石動町今石動/専務:笹川竹:]

時点:所在地(旧市町村名)/社長・代表者/工場規模

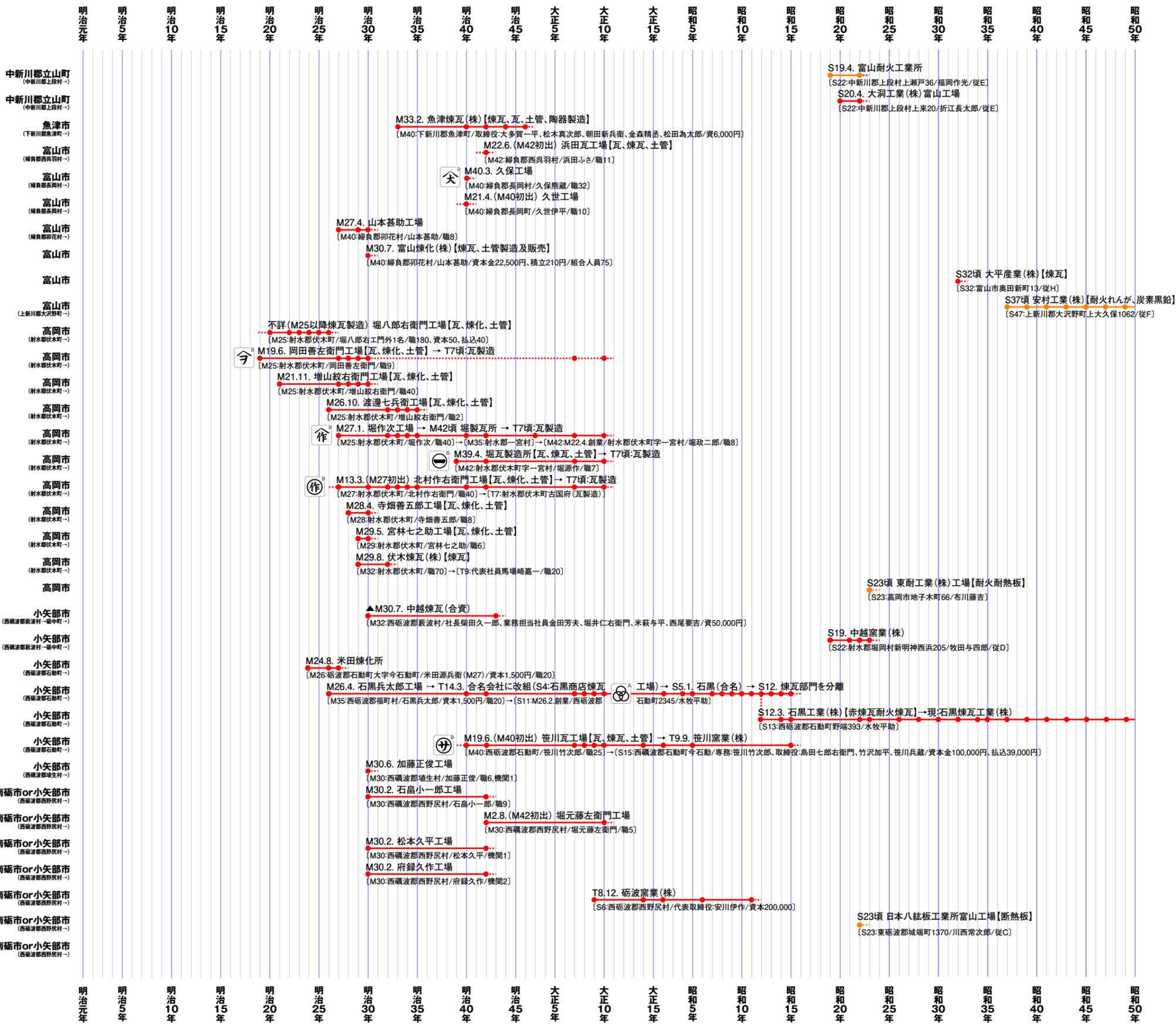
●は文献で操業が確認できた年度を示す
赤は普通・化粧煉瓦、オレンジは耐火・耐酸煉瓦類、
桃はその他。破線は操業状況が不明or別業で操業

※創業年は資料によって異なる。信憑性の高いものを恣意的に採用した。
※会社名×は設立だけで実稼働しなかったと思われる会社(職工数の登録がないなど)。▲は販売会社。
※刻印印影は2019年2月現在における推定。データの蓄積により訂正される可能性あり。更新版は
<http://bdb.kyudou.org/documents/factorylists/> にて配布。



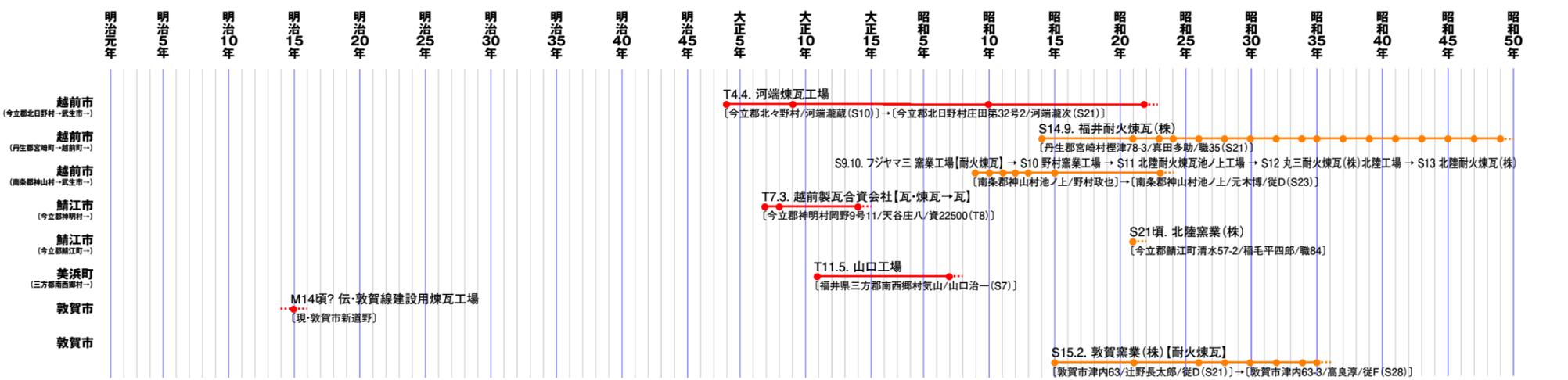
新潟県下煉瓦工場の消長

【データ出典】新潟県統計書(明治19)、工場通覧(明治40、42、大正9、10、昭和4、7、9、10、11、12、13、14、15、16、22、24、25、27、29、31、33、35、37、39)、商工興信録北海道・奥羽地方(大正1)、窯業銘鑑(大正14)、全国工場鉱山事業場名簿(昭和22)、日本工業要鑑(第2、3、6版)、小野田滋『鉄道と煉瓦』



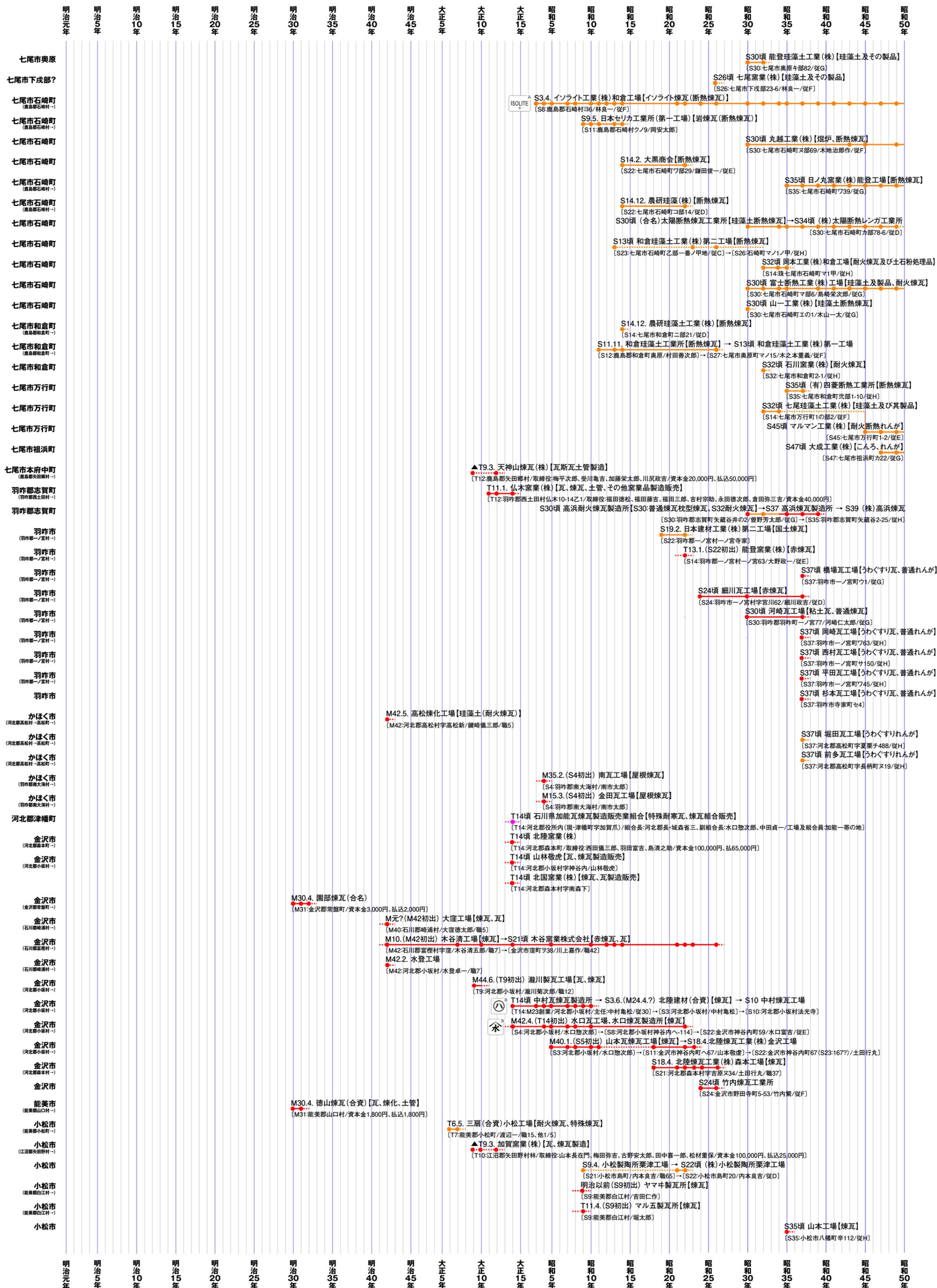
【データ出典】富山県統計書(明治23、24、25、26、27、28、29、30、32)、工場通覧(明治35、40、42、大正8、9、10、昭和4、7、9、10、11、12、13、14、15、16、22、24、25、27、29、31、33、35、37、39、41、43、45、47、49、51、53)、大日本商工録(大正7-8、11、14、昭和3、6、18)、全国工場鑑(山事業場名簿(昭和22)、日本工業要鑑(第3、4、5、6、26、27版)

富山県下煉瓦工場の消長



【データ出典】敦賀市立博物館『敦賀長浜鉄道物語』、工場通覧(明治35、40、42、大正8、10、昭和4、7、9、10、11、12、13、14、15、16、22、24、25、27、29、31、33、35、37、39、41、43、45、47、49、51)、大日本商工録第1輯(大正7-8)、窯業鑑(大正13年)、全国工場鑑(山事業場名簿(昭和22)、日本工業要鑑(第10、12、14、16、27版)

福井県下煉瓦工場の消長



石川県下煉瓦工場の消長(2)